平成17年10月期　第3四半期財務･業績の概況（連結）

平成17年9月2日

上場会社名　日本ロングライフ株式会社　（コード番号：4355　大阪証券取引所　ﾍﾗｸﾚｽ市場）
（ＵＲＬ　http://www.j-longlife.co.jp）
問合せ先　代表者　代表取締役社長　遠藤　正一　TEL　（06）6373－9191
責任者　取締役管理本部長　大垣　清之輔

１．四半期業績の概況作成等に係る事項

① 会計処理の方法の最近会計年度における認識の方法との相違の有無　：　無

② 公認会計士または監査法人の適用範囲の異動の状況　：　無

（注）当期より新たに連結決算を開始したため、前年第３四半期および前期における数値ならびに対前年同四半期増減率については記載しておりません。

２．平成17年10月期第３四半期（平成16年11月１日～平成17年７月31日）の業績

（１）経営成績の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年10月期第3四半期	2,483	－	71	－	41	－	23	－
16年10月期第3四半期	－	－	－	－	－	－	－	－
(参考) 16年10月期	－	－	－	－	－	－	－	－

	１株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後１株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年10月期第3四半期	851	56	849	10
16年10月期第3四半期	－	－	－	－
(参考) 16年10月期	－	－	－	－

（注）　記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第３四半期（平成16年11月１日～平成17年７月31日）におけるわが国経済は、輸出や設備投資が堅調に推移し、緩やかな景気回復の兆しがみられたものの、原油価格高騰の長期化などにより、消費動向は本格的な回復には至らず、依然として予断を許さない経営環境が続いております。

介護サービス業界におきましては、平成18年４月に施行される介護保険制度の改正によるネガティブな問題や業者間における競争は激しくなっております。しかし、高齢者の増加とともに介護認定者が増加し、介護市場は着実に拡大を続けております。当第３四半期における売上高は24億83百万円、損益面の営業利益は71百万円、経常利益は41百万円となりました。

ホーム介護事業においては、販売チャンネルの多様化などにより販売拡大に努め、計画していた販売居室数をほぼ達成し、その結果、ホーム介護事業では売上高17億70百万円となりました。在宅介護事業においては、デイサービスセンター２カ所の新設も含め計画通り推移し、売上高は６億18百万円となりました。その他の事業においては、売上高は94百万円となりました。

（２）財政状態の変動状況

	総　資　産	株 主 資 本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円　　銭
17年10月期第3四半期	8,093	2,692	33.3	96,331　13
16年10月期第3四半期	―	―	―	―
(参考) 16年10月期	―	―	―	―

（注） 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期　末　残　高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年10月期第3四半期	688	△1,005	1,577	2,099
16年10月期第3四半期	―	―	―	―
(参考) 16年10月期	―	―	―	―

（注） 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第３四半期の財政状態は、総資産が 80 億 93 百万円であり、主なものは現金及び預金が 22 億 79 百万円、土地・建物などの有形固定資産が 50 億５百万円であります。また、負債・資本の主なものは、前受金が 18 億 41 百万円、長期借入金（１年以内返済を含む）が 24 億 80 百万円であります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は６億 88 百万円でありました。その主な内訳は、収入要因として、前受金の増加額５億 38 百万円、減価償却費１億 95 百万円があり、支出要因は利息の支払額 19 百万円、法人税等の支払額 63 百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は 10 億５百万円でありました。その主な内訳は、支出要因として、有形固定資産の取得による支出額９億 56 百万円、定期預金の預入による支出額 60 百万円があり、収入要因は定期預金の払戻による収入額 80 百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は 15 億 77 百万円でありました。その主な内訳は、長期借入による収入 12 億 50 百万円、社債の発行による収入４億 88 百万円によるものであります。

３．平成 17 年 10 月期業績予想（平成 16 年 11 月１日～平成 17 年 10 月 31 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	１株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円　　銭
通　　期	3,450	66	33	1,184　06

（注） 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

[業績予想に関する定性的情報等]

現時点での業績予想につきましては、平成17年6月10日に公表いたしました中間決算発表時の業績予想に変更はありません。

（注） 上記の予想は本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以　上

添付資料

１．第３四半期連結財務諸表等

（１）第３四半期連結貸借対照表

	当第３四半期末 (平成17年７月31日)		
区　　分	金　　額　(千円)		構成比 (%)
(資産の部)			
Ⅰ　流動資産			
1　現金及び預金		2,279,664	
2　売掛金		311,012	
3　たな卸資産		4,149	
4　その他		110,927	
5　貸倒引当金		△396	
流動資産合計		2,705,356	33.4
Ⅱ　固定資産			
1　有形固定資産			
(1) 建物及び構築物		2,824,607	
(2) 土地		1,684,116	
(3) その他		496,547	
有形固定資産合計		5,005,271	61.9
2　無形固定資産		6,780	0.1
3　投資その他の資産		367,020	4.5
固定資産合計		5,379,072	66.5
Ⅲ　繰延資産		9,000	0.1
資産合計		8,093,429	100.0

	当第３四半期末 (平成17年７月31日)		
区　　分	金　　額　(千円)		構成比 (%)
(負債の部)			
Ⅰ　流動負債			
1　買掛金		9,843	
2　短期借入金		170,000	
3　一年以内返済予定 長期借入金		509,600	
4　前受金		1,841,463	
5　賞与引当金		10,269	
6　その他		339,255	
流動負債合計		2,880,433	35.6
Ⅱ　固定負債			
1　社債		500,000	
2　長期借入金		1,971,000	
3　退職給付引当金		3,949	
4　ホーム介護 アフターコスト引当金		19,710	
5　その他		25,796	
固定負債合計		2,520,456	31.1
負債合計		5,400,889	66.7
(少数株主持分)			
少数株主持分		―	―
(資本の部)			
Ⅰ　資本金		1,112,524	13.8
Ⅱ　資本剰余金		1,111,761	13.7
Ⅲ　利益剰余金		468,843	5.8
Ⅳ　自己株式		△589	△0.0
資本合計		2,692,539	33.3
負債、少数株主持分及び資本合計		8,093,429	100.0

（注）　記載金額については、千円未満を切り捨てて表示しております。

（２）第３四半期連結損益計算書

	当第３四半期 （自　平成16年11月１日 至　平成17年７月31日）		
区　　分	金　　額　（千円）		百分比 （%）
Ⅰ　売 上 高		2,483,619	100.0
Ⅱ　売上原価		1,843,122	74.2
売上総利益		640,497	25.8
Ⅲ　販売費及び一般管理費		569,005	22.9
営業利益		71,491	2.9
Ⅳ　営業外収益			
１　受取利息	37		
２　その他	4,538	4,575	0.2
Ⅴ　営業外費用			
１　支払利息	21,257		
２　社債発行費償却	3,000		
３　入居契約解約損	4,000		
４　その他	6,493	34,750	1.4
経常利益		41,316	1.7
Ⅵ　特別利益		28,453	1.1
Ⅶ　特別損失		12,835	0.5
税金等調整前 第３四半期純利益		56,934	2.3
法人税、住民税 及び事業税		33,225	1.3
第３四半期純利益		23,709	1.0

（注）　記載金額については、千円未満を切り捨てて表示しております。

（３）第３四半期連結剰余金計算書

	当第３四半期 （自　平成16年11月１日 至　平成17年７月31日）	
区　　分	金　　額　(千円)	
(資本剰余金の部)		
Ⅰ　資本剰余金期首残高		1,099,725
Ⅱ　資本剰余金増加高		
1　ストックオプションの行使による新株式の発行	12,035	12,035
Ⅲ　資本剰余金第３四半期期末残高		1,111,761
(利益剰余金の部)		
Ⅰ　利益剰余金期首残高		493,760
Ⅱ　利益剰余金増加高		
1　第３四半期純利益	23,709	23,709
Ⅲ　利益剰余金減少高		
1　配当金	48,627	48,627
Ⅳ　利益剰余金第３四半期期末残高		468,843

（４）第３四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	当第３四半期 （自　平成16年11月１日 至　平成17年７月31日）
区　　分	金　　額（千円）
Ⅰ　営業活動によるキャッシュ・フロー	
1　税金等調整前第３四半期純利益	56,934
2　減価償却費	195,131
3　長期前払費用償却費	4,948
4　貸倒引当金の増加額	396
5　賞与引当金の減少額	△15,413
6　ホーム介護アフターコスト引当金の減少額	△810
7　退職給付引当金の増加額	731
8　受取利息および受取配当金	△37
9　支払利息	21,257
10　有形固定資産除却損	4,114
11　有形固定資産売却益	△601
12　有形固定資産売却損	7,580
13　賃貸借契約解約損	640
14　売上債権の増加額	△58,104
15　たな卸資産の減少額	2,081
16　仕入債務の減少額	△2,932
17　未収消費税等の減少額	5,788
18　未払消費税等の増加額	7,154
19　前受金の増加額	538,633
20　その他	4,017
小計	771,511
21　利息および配当金の受取額	22
22　利息の支払額	△19,914
23　法人税等の支払額	△63,334
営業活動によるキャッシュ・フロー	688,285
Ⅱ　投資活動によるキャッシュ・フロー	
1　定期預金の預入による支出	△60,000
2　定期預金の払戻による収入	80,000
3　有形固定資産の取得による支出	△956,067
4　有形固定資産の売却による収入	11,466
5　無形固定資産の取得による支出	△2,829
6　敷金・保証金の差入による支出	△20,925
7　繰延消費税に係る支出	△25,843
8　その他	△31,501
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,005,700
Ⅲ　財務活動によるキャッシュ・フロー	
1　短期借入金の純増減額	170,000
2　長期借入金の返済による支出	△307,400
3　長期借入による収入	1,250,000
4　社債の発行による収入	488,000
5　配当金の支払額	△47,583
6　増資による収入	24,071
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,577,088
Ⅳ　現金および現金同等物の増加額	1,259,673
Ⅴ　現金および現金同等物の期首残高	839,990
Ⅵ　現金および現金同等物の期末残高	2,099,664

（注）　記載金額については、千円未満を切り捨てて表示しております。

２．四半期財務情報作成のための基本となる事項

当社は中間連結財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続きを採用しております。

（簡便な手続きの内容）

法人税、住民税及び事業税は、税金等調整前第３四半期純利益に年間予想税金負担率を乗じて計算しております。また、法人税等調整額は「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

以　上